新しい復興の必要（2）第 5 週 神にしたがって牧養する（1）
主イエスと使徒パウロの模範にしたがって、人々をはぐくみ養うことによって牧養する

鳥瞰	わたしたちは、主イエスの務めにおける模範にしたがって人々を牧養する必要があります。キリストは人の子としてわたしたちをはぐくみ、神の子としてわたしたちを養いました。キリストが来たのは裁判官としてではなく、医者として、いやし、回復し、生かし、救うためでした。キリストがご自身の羊を牧養するように委託したことは、使徒たちの務めと、主の天の務めとを合併して神の群れを顧みるためでした。わたしたちは、使徒パウロの模範にしたがって人々を牧養する必要があります。彼は良い牧者であり、養う母として、また勧めをする父として、家から家へと教え導き、涙をもって訓戒し、親密な心遣いを持ち、喜んで財物を費やし、自分自身を犠牲にして、愛が最も卓越した道であるということを啓示しました。	
	真理要点	経験適用
1日	1．福音書で描写されているイエスは、どのようにして人をはぐくみましたか？ 2．Ｉヨハネ 4:9～10 で、主のはぐくみと牧養をどのようにして見ることが出来ますか？	1．彼はこの世に来てただ人をはぐくみました。すべての人は、はぐくみ、幸いにし、慰め、安息を与えるイエスを必要とします。最も罪深い取税人でさえ、友としてのイエスと共に座し、彼と共に食べたり話したりしました。四福音書は、堕落したすべての罪人の必要に応じる、はぐくむ人の子としてのキリストを啓示しています。 2．神は彼の御子を、彼の人性において、わたしたちの罪のためになだめとして遣わしました（Ｉヨハネ 4:10）。これははぐくみです。キリストは人の子として、来て罪のためのささげ物となり、罪人と神との間の状況を和らげました。神は彼の御子をわたしたちに遣わして、わたしたちが彼を通して彼の神性において、命を持ち生きるようにされました（Ｉヨハネ 4:9）。これは養いです。
2日	1．実を結ばないことの理由はなんでしょうか？ 2．はぐくみの意義とはなんでしょうか、またわたしたちはどのようにして実行しますか？	1．御父の愛し赦す心と、救い主の牧養し捜す霊を持っていないことが、わたしたちが実を結ばないことの理由であると信じます。わたしたちは、人を牧養し捜すのではなく、むしろ罪定めし、規制しています。わたしたちは愛と牧養に欠けるのです。 2．人々をはぐくむとは、彼らを幸いにし、喜ばしく、心地良く感じさせることです。わたしたちは人と接触するとき、喜ばしい顔をしていなければなりません。わたしたちは幸いで喜んでいるべきです。元気のない顔でだれとも接触すべきではありません。わたしたちは、真に幸いで喜ばしいという印象を人に与えなければなりません。そうでないと、人々をはぐくみ、幸いにすることはできません。
3日	1．天の王国の王として、どのような務めをしましたか？ 2．キリストはどのようにして、不道徳なサマリアの女をはぐくみ養いましたか？	1．彼が天の王国の民とした人たちは、らい病の人、中風の者、熱で苦しんでいる者、悪鬼にとりつかれた者、あらゆる種類の病んでいる者、さげすまれた取税人や罪人でした。もし主がこれらのあわれな人たちを裁判官として訪れたとしたら、すべての人は罪定めされ、退けられたでしょう。しかしながら、彼は来て医者として務めをし、彼らをいやし、回復し、生かし、救いました。 2．キリストは人の子（イエス）として、ユダヤからガリラヤに行き、ヤコブの井戸に近いスカルの町を回り道して通り、渇いて水を求めていた不道徳なサマリアの女を意図的に待たれました。これははぐくみです。キリストは神の子として、神によって賜物として遣わされ、湧き上がって永遠の命へと至る命の水を彼女に飲ませました。これは養いです。
4日	1．ヨハネ第 21 章で啓示されている、キリストの天の務めと使徒の地上での務めの協力を説明して下さい。 2．啓示録第 1 章では、どのようにしてキリストのはぐくみと養いが最上の模範であると見ることが出来ますか？	1．主は彼の復活の後、昇天の前に、彼の弟子たちと共にとどまっていたとき、彼の現れの一つにおいて、彼が天にいる間、すなわち彼がいない時に彼の小羊を養い、彼の羊を牧養するようペテロに委託しました。牧養するとは、すべてを含む優しい顧みを群れに行なうことです。これは、使徒の務めとキリストの天の務めとを合併して、神の群れを顧みることです。神の群れは召会であり、その結果キリストのからだを生み出します。 2．12 節と 13 節でヨハネは言いました、「わたしは、わたしに語りかけたその声を見ようとして振り向いた．振り向くと、七つの金の燭台を見た．その燭台の間に、人の子のような方が、足まで垂れた衣を着て、胸に金の帯を締めておられた」。この衣は祭司の衣であり、これはキリストがわたしたちの大いなる大祭司であることを見せています。腰に帯をするとは、働きのために強められることです。今や彼は愛によって、生み出した召会を顧みておられます。こういうわけで、彼は胸に帯を締めておられるのです。胸に金の帯を締めているのは、キリストの神性が彼の活力となることを表徴します。彼の神聖な活力は、彼の愛によって、彼の愛をもって活用されて、諸召会を養います。
5日	1．良き牧者としてパウロはどのようにして聖徒を顧みましたか？ 2．パウロはコリントの召会の信者へ、どのように務めを行い、伝達し、手紙を書きましたか？	1．パウロは言いました、「だれかが弱っているのに、わたしが弱らないでおれましょうか？　だれかがつまずいているのに、わたし自身が燃えないでおれましょうか？」。また、「弱い人には弱くなりました．弱い人を得るためです」と言いました。これは、わたしたちが弱い人の水準に下って来るべきであることを意味します。これが、訪問することによって人を牧養する方法です。彼のすべての労苦に加えて、彼はなおも聖徒たちの家を、家から家で訪問しました。彼はこれを行なって聖徒たちを成就しました。 2．パウロの正当で適切な務めは常に、務めを受ける人たちの心の中と、務めをする人の心の中の両方にキリストの何かを書き記します。コリント人への第二の手紙第 3 章 2 節は使徒たちの心について語りますが、3 節はコリントの信者たちの心です。一種類の手紙が、使徒たちの心と信者たちの心の両方に書き記されています。キリストの手紙は「インクによってではなく生ける神の霊で書かれ」ます。使徒たちはこの要素を用いて、キリストを内容として供給し、キリストを伝達する生ける手紙を書きます。
6日	1．愛が最も卓越した道であるのは何故でしょうか？また愛にはどのような効果がありますか？ 2．召会は警察署ではなく、また法廷でもなく、家であり病院であるのは何故ですか？	1．どのようにして長老になることができるのでしょうか？　どのようにして同労者になることができるのでしょうか？　どのようにして人を牧養するのでしょうか？　愛が最も卓越した道です。愛はまさっています。わたしたちはすべての人を、敵でさえ愛すべきです。わたしたちの御父が、悪しき者も善なる者も何の差別もなく愛することによって完全であられるように、わたしたちも完全でなければなりません。それはあらゆる面で愛によります。わたしたちはどのような人も愛さなければなりません。 2．召会は、人を逮捕する警察署や人を裁く法廷ではなく、信者たちを育てる家庭です。親は、子供が悪ければ悪いほど、ますます育てる必要があることを知っています。召会は愛の家庭であり、子供を育てます。召会はまた病院でもあり、病人をいやし回復します。最後に、召会は学校であり、あまり理解のない人たちを教え啓発します。
まとめ	わたしたちは主とパウロの務め、牧者としての模範を見る必要があり、わたしたち自身をささげる必要があります。ペテロはヨハネ 21 章において、海で魚を捕っていました。霊的な光景は弱く、恥じる状況でした。主はこのような時に来られて、彼をはぐくみ、牧養し、彼の牧養の働き（「わたしの小羊を養いなさい」、「わたしの羊を牧養しなさい」、「わたしの羊を養いなさい」）を回復しました。わたしたちには、牧養を行わない如何なる理由も言い訳もありません。ペテロが「主よ、あなたはすべての事をご存じです．わたしがあなたを愛していることは、あなたがご存じです」と言ったように、ただ喜んで、自分の状況を顧みず、牧養の委託を受け入れ、「主よ、わたしがあなたの小羊を牧養することを願っていることをあなたは知っておられます」と主に言うべきです。	